MONITOUCH テクニカルインフォメーション

2018年4月25日

× • •

テーマ	三菱 QnU シリーズ内蔵 Ethernet ポートと V9 の接続		
該当機種	V9 シリーズ	No. TI-M-1257	1⁄4

1. 接続環境

モニタッチ	: V9080 i SD
PLC	: QO3UDECPU

使用ソフト : V-SFT-6、GX Works2 Ver 1.95Z

2. V-SFT 設定手順

 V-SFTを立ち上げ、モニタッチの機種とPLCの機種[QnU シリーズ(内蔵 Ethernet)]を選択します。 接続先ポートとプロトコル(TCP または UDP)を選択します。[完了]をクリックすると「PLC1 プロパティ」が表示されます。

編集機種選択	X		
編集機種		PLC1 接続機	器選択
V908* i S	•	接続機器	PIG
設置方法 🛄		J-ti-	[二苯重排]
1月1日C サイプ		~ /J	
800 × 600	•	機種	QnUシリーズ(内蔵Ethernet)
カラー		 接続先ポート	LAN(UDP)
32K色ブリンク可	-		LAN(UDP) LAN(TCP)
オプションユニット			LAN2(UDP)
	*		LAN2(TCP) TLANユニット(UDP)
			*
OK ++2	ノセル		



Hakko Electronics Co., Ltd.

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-1257	2⁄4
	NO. 11 W 1237	2/ 4

② [通信設定]において、

・[ランダム読出し]を「する」に設定します。

・[通信設定]で PLC 通信に使用する V9 のポート No.を 1024~65535 から任意設定します<u>(※ No.8001 を除く)。</u>

PLC1プロパティ 三菱電機 Q	nUシリーズ(内蔵Ethernet)	
デフォルトに戻す		
白 通信設定		
接続形式	1:1	- A
リトライ回数	3	
タイムアウト時間(×10msec)	500	
送信遅延時間(×msec)	0	
スタートタイム(×sec)	0	
ランダム読出し	する	
ポートNo.	10001	
ゴード	DEC	
文字処理	LSB→MSB	
通信異常処理	停止	
□ 細かい設定		
優先度	1	
システムデバイス(\$s) V7互換	しない	
サービス処理設定	する	
□ 接続先設定		
接続先	0:	
PLCテーブル	設定	
接続確認デバイス使用	しない	
ロ ラダーモニタ		
ラダーモニタ	設定	
		*

- ③ [接続先設定]において、
 - [PLC テーブル]で、接続する PLC の IP アドレス、ポート No. を設定します。
 (※ポート No. 5000~5900 は設定不可)
 - ・[接続先]で、接続 PLC の IP アドレスを PLC テーブルより選択します。

サービス処理設定	する	1			
日 接続先設定					
接続先	0:192.168.1.1(PLC)				
PLCテーブル	設定				
接続確認すハイス使用	U/all)				
□ ラダーモニタ		PLCテーブル		l l	×
ラダーモニタ	設定	PICテーブル			
		No. 局名	IPアドレス	ボートNo	~
I		0 PLC	192.168.1.1	8000	
		2			
注意:		3			
接続形式 1:n の場合、接続:	先は表示されません。	4 5			
1∶n の場合、各アイテムのメ	モリ設定にて接続先 PLC	7			
の PLC テーブル No. を選択し	します。	9 10			
		11			
		12			Ŧ
		•		•	
				閉じる	

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-1257	3⁄4
		1

④ [システム設定]→[Ethernet 通信]→[自局アドレス]で V9 本体(自局)の IP アドレスを登録します。
 IP アドレス設定ダイアログから直接 IP アドレス等を設定するか、ネットワークテーブルであらかじめ
 登録した情報を「IP アドレスをネットワークテーブルから選択する」で指定します。
 ※ここで IP アドレス設定を行わない場合、V9 本体で[ローカル画面]→[LAN 設定]から手動で設定してください。

✓ IP設定を行う	りテーブ	しかん	ら選	尺す る	5		No	0	
IPアドレス 192 .	. 168		1		2		٦	-	v
🔲 デフォルトゲートウェイ			0	1	0	÷	0		0
🔲 サブネットマスク			0		0		0		0
ポートNo.	100	00		1					
送信タイムアウト時間	15			*s	ес				
リトライ回数	3								
デバイスプロテクト									
□ 内部デバイス				×	モリカ	j-k	デバ	イス	

- ⑤ 画面データを本体に転送します。
- 3. GX Works2 設定手順
 - ① GX Works2 を立ち上げます。
 - ② [PC パラメータ]をダブルクリックし、[内蔵 Ethernet ポート設定]において、
 ・PLC の IP アドレスを設定します。
 - ・[交信データコード設定]を「バイナリコード交信」に設定します。
 - ・[□RUN 中書込を許可する(FTP と MC プロトコル)]にチェックを入れます。

👿 MELSOFTシリーズ GX Works2 (プロジェクト未	R設定) - [[PRG]書込 MAIN 1ステップ]			
· プロジェクト(P) 編集(E) 検索/置換(E) 変換	●/コンパイル(<u>C</u>) 表示(<u>V</u>) オンライン	(Q) デバッグ(B) 診断(D) ツール(I) ウィンドウ	(別) ヘルプ(出)	_ # ×
1 🗅 🖻 🗃 🕘 🔹 🚬 🖄 🗈	5 (5 km m) 🖼 🖼 🖼 🚚 🛲 🛃 (RANNA	道論 阿陀。	
🎦 💷 🚍 🚟 🚟 🐨 🕼 🔍 🏦	パラメータ・	Qパラメータ設定	ARR DOG ALLON	
	○ [PRG]書込 MAIN 12テップ		Image: 1 1 1 Image:	(設定) Gitternetオー¥X定
		サブネットマスクパク・ン デフォルトルータルアドレス 又信データコード設置 の パイナリコード文信 で ASCIIIード文信		
▲ プロジェクト し、ユーザライブラリ ■ 接続先		P = 0.04年ま22台3可な(CPE)×C21(21) P = 0.057±20,005/84(458)±75 T ネットワーク上のEthame(内線形になどし P)(か)+中国設定 P)(か)+P)(物)+P)(か)+P)(n)+P(n)+P	Δμιν	
-	日本語 ラベルなし			必要に応じ設定(デフォルト・/ 文更あり)
		表示画面印刷 表示画面プレビュー	X/Y割け確認 デフォルト	チェック 設定終了 キャンセル

Hakko Electronics Co., Ltd.

テクニカルインフォメーション	No. TI-M-1257	4⁄4
----------------	---------------	-----

③ [オープン設定]をクリックすると、[内蔵 Ethernet ポートオープン設定]が表示されます。

IPアドレス/ポート番号入力形式は10進数にすると便利です。

・プロトコル : TCP または UDP (P1 の手順①において、「接続先ポート」で選択したプロトコルに合わせます)

・オープン方式 :MC プロトコル

・自局ポート番号 :V9 と通信する自局ポート番号を指定します(下図参照)

				Cr 1501/675 14	* ポート母子	- IPアドレス	ポート番号			
1 UD)P 👻	MCプロトコル	-		▼ 800	0				
2 10		MELSOFTISKE	-			4				
3 TC	P 👻	MELSOFT接続	-		+					
4 TC	P 👻	MELSOFT接続	+		-					
5 TC	P 👻	MELSOFT接続	+		*					
6 TC	P 👻	MELSOFT接続	- /	-						
7 TC	P 🔫	MELSOFT接続	-	PLCデ	ーブル					X
8 TC	P 👻	MELSOFT接続	-	-						
9 TC	P 👻	MELSOFT接続	-	PLC	テーブル				×	
10 TC	.P 👻	MELSOFT接続	+	No.	局名			IPアドレス	ポートNo	~
11 TC	P 🔻	MELSOFT接続	+	0	PLC			192.168.1.1	8000	
12 TC	.Р 🔫	MELSOFT接続	-	1						
13 TC	.Р 🔫	MELSOFT接続	-	2						
14 TC	P 🔻	MELSOFT接続	-	3						
15 TC	P 👻	MELSOFT接続	-		Vg の技	·結先設定の	ヮポートw	h と合わt	+=-	
16 TC	.Р 💌	MELSOFT接続	-	•			2 /10 1 10			

④ 以上の設定を PLC に書込み、PLC の電源を再投入します。

【お問い合わせ】 発紘電機株式会社 技術相談窓口 フリーコール: 0120-128-220 FAX: 076-274-5208